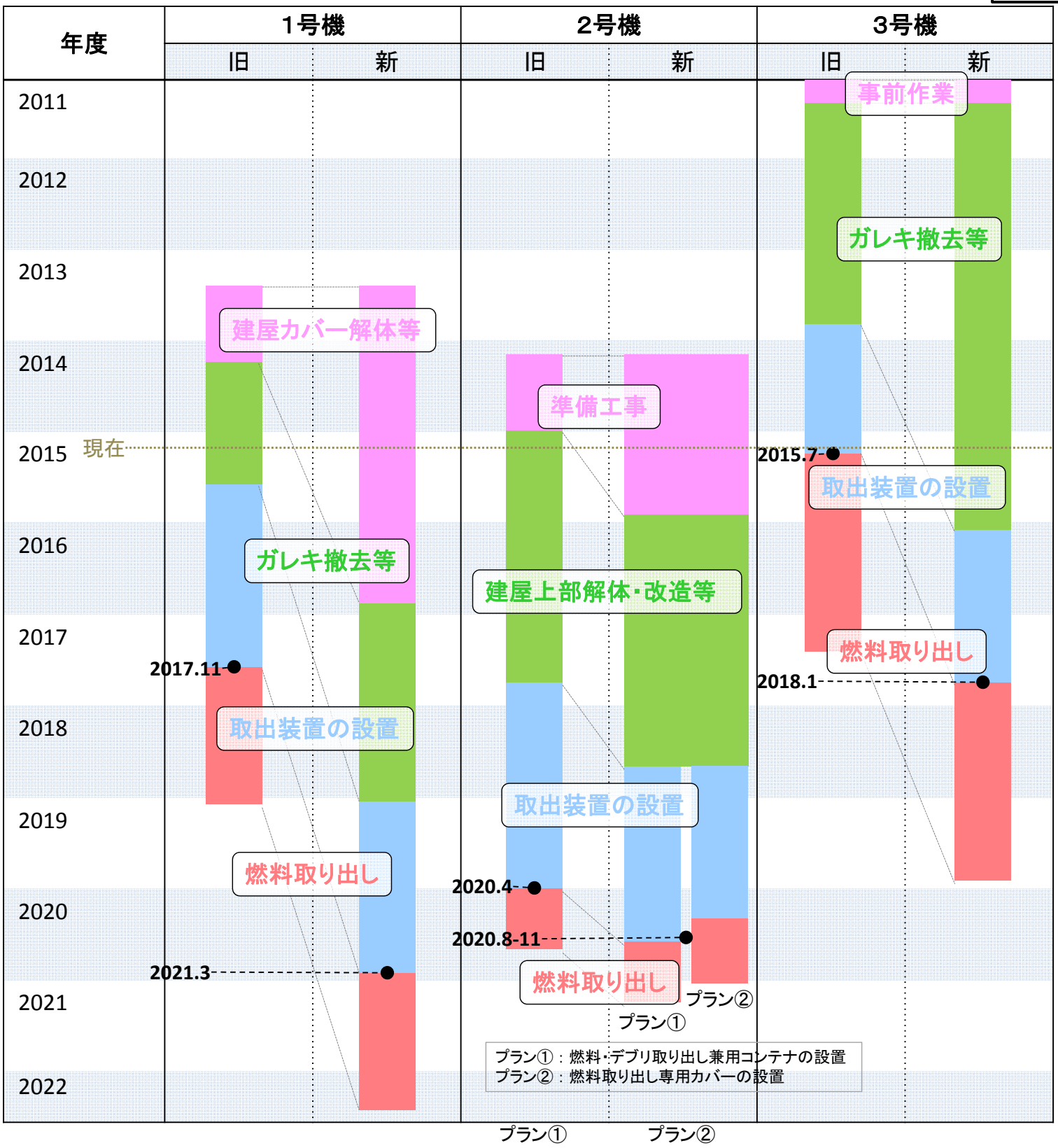
使用済燃料プールからの燃料取り出しにおける工程見直し

資料2



		1号機	2号機		3号機
ア	安全・安心の追加対策	＋約17.5ヶ月 例：ダスト飛散防止対策等（＋12ヶ月）	＋約3ヶ月 ・干渉物撤去作業の時期見直し		＋約16ヶ月 例：追加線量低減対策（＋14ヶ月）
イ	判明した状況への追加作業	＋約13ヶ月 例：3号機の反映（＋10ヶ月）	＋約0.5ヶ月 例：3号機の反映	ー約2.5ヶ月 例：取出設備の変更	＋約3ヶ月 例：プールゲートの追加調査（＋1.5ヶ月）
ウ	複数作業の干渉による中断	＋約4.5ヶ月 ・陸側遮水壁との工程調整	＋約2ヶ月 ・ミュオン装置設置との工程調整		-
	小計	＋約35ヶ月	＋約5.5ヶ月	＋約2.5ヶ月	＋約19ヶ月
エ	機器の不具合等のトラブル	＋約5.5ヶ月 例：クレーンの不具合等（＋3ヶ月）	-		＋約11ヶ月 例：機器のプール内落下等（＋7ヶ月）
オ	情報不足に因る判断の遅延	-	＋約1.5ヶ月 ・撤去する構造物の見直し		-
	小計	＋約5.5ヶ月	＋約1.5ヶ月		＋約11ヶ月
	合計	＋約40.5ヶ月	＋約7ヶ月	＋約4ヶ月	＋約30ヶ月